

活動報告

講演会・研究会開催報告

ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 人見 明宏

平成 27 年度、高等言語教育研究所により実施した講演会並びに研究会は以下のとおりである。

1. 平成 27 年度講演会

日 時：2015 年 11 月 30 日(月)16:10-17:40(5 限)

会 場：S201 教室

演 題：コピュラ文のいろいろ

講 師：金水 敏(大阪大学教授)

講演概要：「ぼくはウナギだ」「お姉さんは男の子ね」

———これらは一体、どんな意味になるのか、分かりますか？

「吾輩は猫である」「明日が締め切りだ」など、文末の述語が「名詞＋{だ/です/である}」のような形を取る文を、「コピュラ文」と呼ぶことにします。「だ/です/である」等の、いわゆる「断定」の形式を“コピュラ”と呼ぶからです。英語であれば“I am a cat.” “Tomorrow is the deadline.” など、A is B の形を取る文に相当する場合がありますが、英語に直訳できないタイプの文もあります。日本語では、コピュラ文にさまざまなヴァリエーションがあり、冒頭に掲げたような、英語にはない不思議な文も普通に使われているのです。この講演では、日本語のコピュラ文を意味と構文の面から分類し、その不思議を解明していきます。その際、キーとなるのが“集合”という概念です。この概念の適用を拡げていくと、いままで気づかれていなかった日本語文法のさまざまな性質が見えてくるのが分かります。

参加者数：170 名

2. 言語教育研究会

2-1. 第 18 回

日 時：2015 年 8 月 7 日(金)13:30-17:20

会 場：H201 教室

司 会：人見 明宏

参加者数：17 名

発表者および発表タイトル

(1) 秋田 貴美子(外国語学部国際関係学科)

「A Challenge of Imagined English Education in Japan:
Should English be taught as skills or knowledge or both?」

(2) セルヒオ・ネリ(グローバル人材育成推進室)

「Teaching Subjects Related to Cultural and Global Studies in iCoToBa」

- (3) 宮谷 敦美(外国語学部国際関係学科)
坂本 ファーン(グローバル人材育成推進室)
「多言語による PBL 授業の可能性
ー『あいちものづくり・学生共同プロジェクト』の教育実践からー」
- (4) 黒野 敦子(本学非常勤講師)
荻谷 太佳子(本学非常勤講師)
『プロジェクトワーク』の実践報告 ー『つなぐ』ことを目指した授業」

2-2. 第 19 回

日 時：2016 年 2 月 15 日(月)13:00-16:10

会 場：H202 教室

司 会：人見 明宏

参加者数：21 名

発表者および発表タイトル

- (1) 武田 太一(本学非常勤講師)
亀井 伸孝(外国語学部国際関係学科)
「語学科目『日本手話』導入の達成と課題」
- (2) 大門 正幸(本学非常勤講師)
「プレゼンテーション力向上を目指した授業に関する実践報告」
- (3) 岡本 直樹(外国語学部英米学科 4 年)
「英語の現在完了形ー過去を表す定時間表現との共起現象ー」
- (4) 学生自主学習会報告(高等言語教育研究所からの助成に関する報告)
 - ・ポルトガル語研究会 木戸 志緒子(外国語学部国際関係学科 3 年)
 - ・英文法研究会 岡本 直樹(外国語学部英米学科 4 年)
 - ・MAG 翻訳研究会 上手 結有希(外国語学部国際関係学科 2 年)
 - 花井 万里奈(外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 2 年)
- (5) 宮谷 敦美(外国語学部国際関係学科)
「報告『国際基準の大学教育改革ー日本・オーストラリア・アメリカの学生調査からわかること』」(高等言語教育研究所派遣出張報告)